

## MotionCapture の使い方

このツールは EqWatch が緊急地震速報を受信中、メイン画面を動画としてキャプチャするツールです。

### 重要

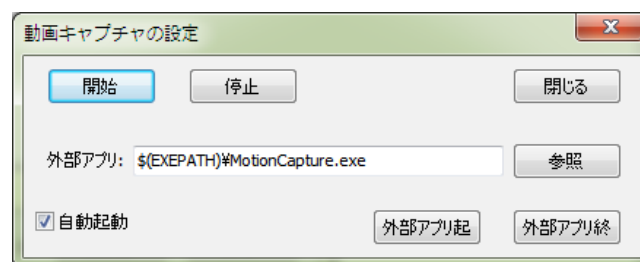
- このツールは Core Audio API を使用してスピーカから出力されるオーディオをキャプチャしているため、Windows Vista 以降のみで使用できます。Windows XP では使用できません。
- 動画のエンコードは環境に大きく影響されるため、基本的に本ツールはサポート外とします。
- これまで動画エンコードの経験のない方は利用が難しいかもしれません。
- 本ツールは VideoForWindows API を利用しているため、対応したビデオ CODEC がインストールされてなければなりません。

例：[http://sourceforge.jp/projects/sfnet\\_x264vfw/](http://sourceforge.jp/projects/sfnet_x264vfw/)

## 処理の流れ

	EqWatch	緊急地震速報を受信
Step 1	MotionCapture 自動処理	画像を静止画でキャプチャ 音声を Wave 形式でキャプチャ
Step 2	MotionCapture 手動エンコード	静止画を指定の CODEC でビデオ化し Wave 音声をそのまま合成して AVI ビデオにする
Step 3	他のツール	Step 2 で作成した AVI ファイルから Wave だけ mp3 などに圧縮して 新 AVI ファイルを作成する

## 本ツールを使用する




1. 設定ウィンドウのユーティリティ・タブ／スクリーンキャプチャ・グループ内の「動画」ボックスをクリックしてチェックします。
2. 設定ボタンをクリックします。
3. 「外部アプリ」ボックスが空白の場合、参照ボタンをクリックして

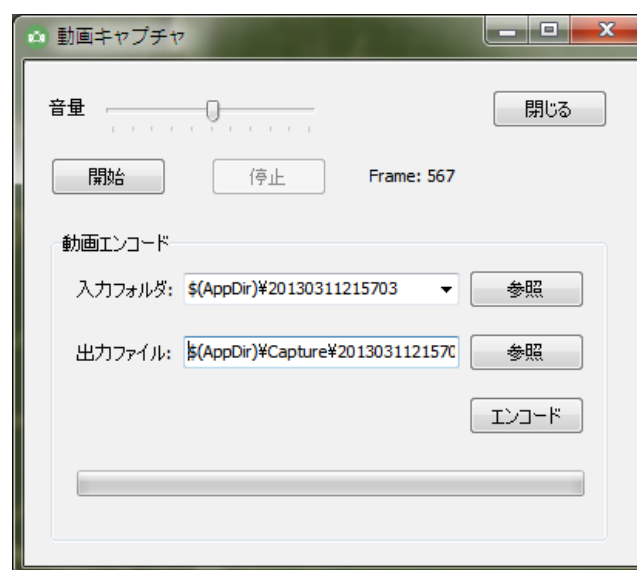
「MotionCapture.exe」を選択します。

4. 「自動起動」ボックスをクリックしてチェックします。
5. 「閉じる」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じ、EqWatch 自体を再起動してください。
6. これで緊急地震速報の受信時に自動的に動画キャプチャされます。また、「訓練」でも利用できます。

緊急地震速報の受信時のキャプチャでは、オーディオは Wave 形式でキャプチャされますが、CPU 負荷の低減のため、ビデオは静止画で保存されています。地震 ID がこの静止画フォルダの名前になっていて、EqWatch フォルダ内に作成されます。

## 「動画キャプチャ」ツールを起動して最終エンコードする

最終エンコードでは、手動で静止画を動画に変換し、オーディオファイルと結合します。タスクトレイ内のアイコン  を右クリックし、「ウィンドウを開く」を選択します。



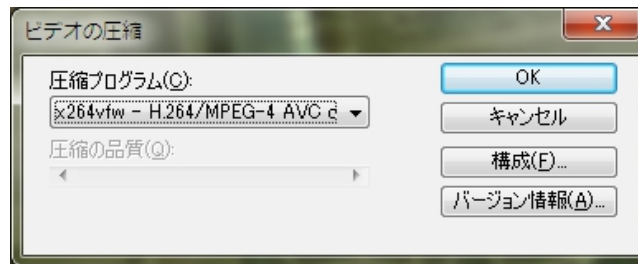
「入力フォルダ」ボックスが空欄の場合、参照ボタンでエンコードする静止画が保存され

たフォルダを選択します。

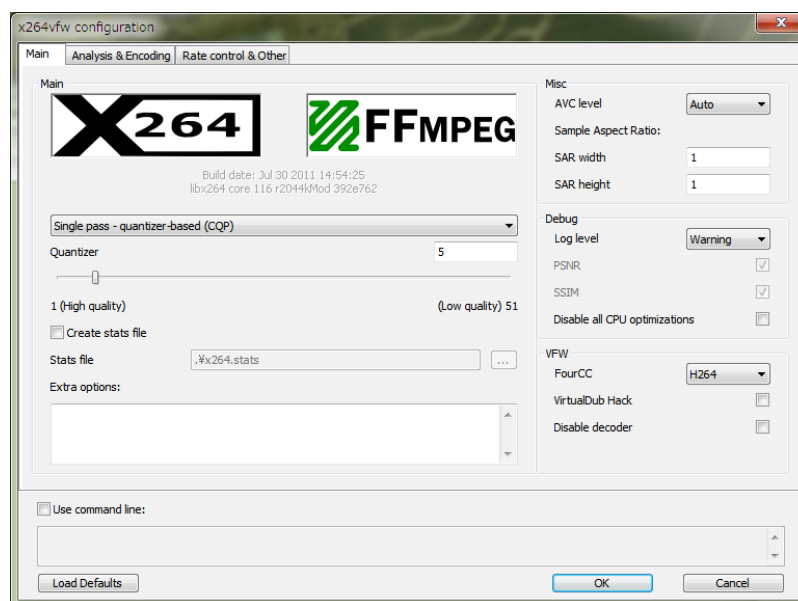
「出力ファイル」ボックスが空欄の場合、参照ボックスで出力する動画ファイル (\*.avi) を入力します。

「エンコード」ボタンをクリックします。

「ビデオの圧縮」ダイアログが表示されますから、左の「圧縮プログラム」から適切な CODEC を選択します。下の例は H.264 を指定しています。



構成ボタンをクリックして CODEC の設定をします。必ず「Single Pass」を選択してください。画質を適宜調整します。



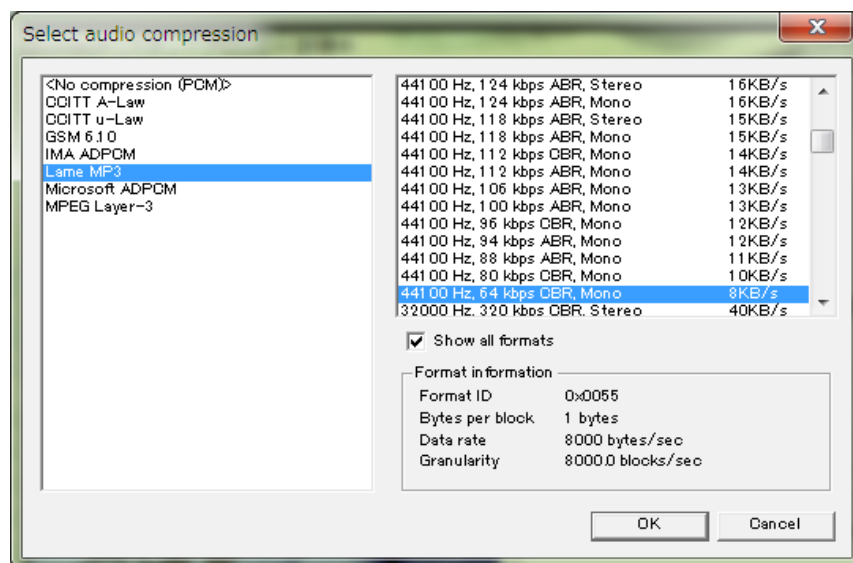
すべて「OK」ボタンをクリックして「動画キャプチャ」ウィンドウに戻ると、エンコードが始まります。時間は数十秒から数分程度です。

「出力ファイル」ボックスで指定した場所に動画ファイルが作成されます。

## オーディオも圧縮する

本ツールは VideoForWindows しか利用していないため、オーディオの圧縮はやりません。そこで外部ツールを使用してオーディオも圧縮します。以下の例では VirtualDub を利用します。

- VirtualDub を起動し、File/OpenVideoFile で上で作成した avi ファイルを読み込みます。
- Video/DirectStreamCopy をチェックします（ビデオは再圧縮しません）。
- Audio/FullProcessingMode をチェックします（オーディオのみ圧縮します）。
- Audio/Compression をクリックしてオーディオ圧縮画面を開きます。



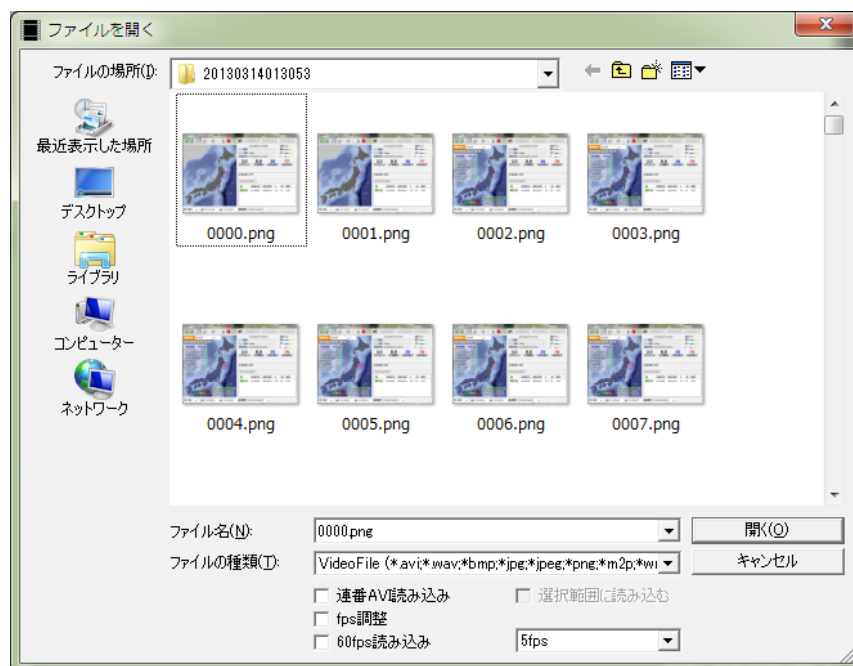
この例では「Lame」を選び、64kbps CBR Mono にしています

- OK をクリックしてメイン画面に戻ります。
- File/SaveAsAVI で動画を保存します。

## AviUtl でエンコードする

AviUtl をまだインストールしていない場合、以下からダウンロードして、適当なフォルダに解凍してください。 [AviUtl のお部屋](#)

「ファイル／開く」で静止画フォルダを開きます。



図のように、右下の「fps 変更なし」を「5fps」に変更し、「開く」をクリックして静止画を読み込みます。

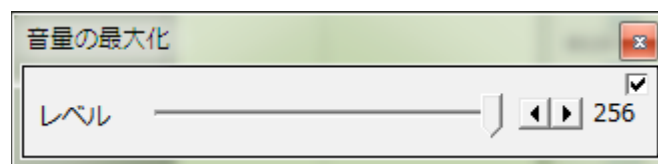
続いて、「ファイル／音声読み込み」から EqWatch.wav を開きます。

以下のような画面になるはずです。

最下段のバーを動かすと、画像と音声波形が変化します。



必要に応じて「設定／音量の最大化」ダイアログで以下のように設定します。  
右上のチェックを忘れないでください。音量が最適化されます。

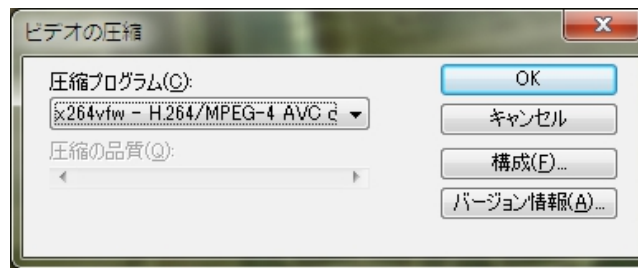


念のために、以下の項目を確認してください。

- ・ 設定／サイズの変更 → なし
- ・ 設定／フレームレートの変更 → なし
- ・ 設定／インターレースの解除 → なし

最後に「ファイル／AVI 出力」ダイアログで、「ファイル名」を指定します（出力する avi ファイル名です）。

「ビデオ圧縮」をクリックし、ビデオの圧縮を設定します（上の MotionCapture を使ったエンコードと同じ）。



「オーディオ圧縮」をクリックしてオーディオの圧縮を設定します。以下の例は Lame mp3 44.100kHz CBR Mono を指定しています。



以下のような画面になったら、「保存」をクリックして AVI ファイルを保存してください。

